

豊かで 住みよい 町づくり

議会だより



上 勝

かみかつ

12月定例会

VoL. **24** 2007. 2. 1 発行

12月定例会	— 2 ▶ 3	視察報告	— 10 ▶ 11
一般質問	— 4 ▶ 9	写真で紹介 まちのようす	— 12
		・編集後記	





どんと焼き(旭)



平成19年上勝町成人式

第5回 定例会

会期 9日
開会 平成18年12月12日
閉会 平成18年12月20日

一般会計
補正予算

4,367万8,000円

補正後
予算総額

23億2,091万円

その他 3 特別会計補正予算を可決。

笠松町長から提案理由説明の後、地方自治の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の制定・整理など5件、補正予算4件、医療広域連合の設立1件、合計10件の議案（発議1件）について提案者より説明がありました。

副町長定数条例、一般会計補正予算（補正第3号）他・補正予算4件につき原案どおり可決。

上勝町光ケーブルネットワーク施設の設置及び管理に関する条例について（発議）は賛成少数につき否決。

請願5件中3件は総務委員会に付託、2件は否決。

全国森林環境税の創設を求める意見書について（発議）可決。

町議会議員定数条例の一部改正する条例について（発議）は審議、討論の結果賛成多数で可決。

上勝町議会議員定数を改正

10人から8人に

平成20年1月1日から実施

上勝町固定資産評価審査委員会委員の選任



峯下 徹氏(65歳)

上勝町教育委員会委員の任命について同意



松阪福二郎氏(41歳)



町道剣山線災害復旧工事箇所(谷口)



CO2抑制事業(薪ストーブ)

12月定例会の一般質問には
6人が質問しました。

一般質問

町政を問う



藤田 欣宏 議員

過疎債の今後は

過疎債は

過疎地域自立促進
特別措置法が平成
22年3月に期限切れとな

るが、本町にとって、ど
のような影響があるか。

答 町長 本町の各
種事業の

財源対策として過疎対策
事業債を主に計算をして
いるので財源確保の面
で大きな影響が出る。

問 この法律の継続の
運動をしているか。

答 町長 県におい
て今年度

中に過疎対策研究会を発
足させる事になっている
ので、その場で最大限努
力する。

いつきゅうと
いるどりの町作りは

問 近年本町に視察者
が多く来ているが、
どのような視察者か。主
な視察内容は。

答 町長 視察者は
多種多様

で北海道から沖縄、海外
まで、議会議員から民間
の大学、各種団体等。視
察内容は、いろいろ64%
ごみ分別19%、3セクそ
の他17%である。

問 いろいろ産業が全
国的に注目されて
いるが、これの継続には
何に取り組むべきか。

答 町長 一番は販
路の拡大

で、JA出荷体制、農家
いろいろ、各関係機関の
連携強化、商品戦略、情
報戦略。次に、生産努力
の向上で、新規就農者を
ふくめ後継者作りである。

住民の目線で行政に
取り組んでいるか

問 少子高齢化対策は。

答 町長 少子化対
策として

は、出生児の祝福金の支
給、7才児未満乳幼児等
医療費の支給、保育園の
設置と一時保育、延長保
育、地域子育て支援セン
ター、幼稚園の預かり保
育等。

高齢者対策としては、
敬老式典、地域敬老会へ
の補助金交付、老人クラ
ブ育成補助金、シルバー
人材センター運営支援、
独居老人の緊急通報装置
有償ボランティア輸送事
業、介護支援センター、
デイサービスセンター等。

19年度予算は

問 町長2期目、3年
目の予算となるが、
基本的にどのよう
に考えているか。

答 町長 若者定住
の住宅整

備と、国民文化祭をきつ
かけとし、森林農地の適
正管理に気づいてもら
う。又少しのこと
で便利、美しくなる
ことに気配りし
たい。

どうする町道管理

予算で検討中。

問 町道（美杉線・元
山槻地線）の現状
管理と今後の維持管理は
どのように考えるか。

答 町長 美杉線に
ついては、

町職員により、草刈り、
側溝の掃除、土砂の取り
除き、凍結防止剤の散布
等を行っている。元山槻
地線については委託をし
ていた。

今後、美杉線について
は、環境管理員の3名体
制で行う予定。元山槻地
線は委託草刈りで新年度



藤田 欣宏 議員



楽ビジョンは

問 楽ビジョンの制作
はだれが行っている
のか。

答 町長 NECマ
グナスコ

コミュニケーションズが19
年3月31日迄無償で対応
していただき、総務課2
名、産業課3名で対応し
ている。4月からは職員
体制を充実することで、
業者の指導を得ながら、
よりよき番組づくりに努
めたい。

問 楽ビジョンの活用
は勝浦町と同じと
思うが。

答 総務課長

楽ビジョンを使い、町の
行政情報、イベント情報
を提供していくのが趣旨
である。

勝浦町では、給食だよ
りを作った。本町では健
康を重点に健康彩らふ
として、4つの画面にし
た。

くるくるショップの動
画等についてもNPO法
人が積極的にやっていた
だけ、前向きなスタート

問 楽ビジョンの中
での広報が時々誤り
がみえるが。

答 産業課長

広報をホームページに掲
載する場合、HTML方
式とPDF方式がある。
上勝の場合、見やすいH
TML方式を採用した。
今後は誤りがないよう努
力したい。





西浦光信 議員

第2診療所跡 その後

問 第2診療所跡活用については地主の方と、話しあい、良策を検討することであったがその後どうなっているか

答 町長 医師住宅は、近隣住宅の建て替えの仮住宅として、過去3回利用した。今回もまだ未定であるが1件の申込みがある。住宅計画も検討しているが、解体費用も大きいし、借地であるので地主と良く話しあって進めていきたい。

問 旧警察官駐在所、環境管理、どういかならないか。周辺の草、

カズラの繁茂。

答 町長 旧福原駐在所の跡地を県から無償で払い下げたもので現在倉庫として、使っておりますが、環境管理員にお願いすることを検討します。

問 月ヶ谷温泉の宿泊利用客は順調に推移しておりますか。集客計画については。

答 町長

平成10年	8,446人
平成14年	6,284人
平成17年	7,679人
平成18年11月現在	6,218人

対前年度同期では11%増となっております。集客計画についてはお客様の少ない時期に研修を計画しております。



歯科診療その後

問 歯科医師後任についてどのように推移しておりますか。

答 町長 上勝へ行くのならば、月40〜50万円の保証をし、初期投資として1,400万円必要、その上助手1名を付けてほしい。

診療報酬以外の人件費として毎月70万円となりますと、840万円の持ち出しがいるということで、今後検討はしますが、現状は非常に難しい。



その後の改築計画は

問 JA東とくしま加工所の改築計画はどのようになっているか

答 町長 県農業支援センター、町、JAによる研究会を立ちあげ19年度中に具体的な検討を進め、20年度以降の建設を旨とする。

答 町長 積極的に働きかけ



町営住宅は

問 光ケーブルの支障木の切り取りは。

答 総務課長 四国電力・NTTと共に地主さんに協力を求め保守業者であるNTT西日本・四国に伐採してもら

問 毎年危険箇所点検を実施しているが点検後どのように対応しているか。

答 建設課長 公共施設については補助事業が採択され用地の承諾が得れば直せるが、宅地の場合は個人の財産管理になる。

問 県道正木工区の開通見通しは。

答 町長 見通しは立たない。道路特定財源が一般財源化したため予算の見通しがつかない。

問 信号機の県道通行時間を長くしてはどうか。

答 建設課長 県警と協議し変わる方向で検討する。

答 建設課長 落札金額は30万4,000円。予定価格は829万5,000円。比率は36.5%。

問 設計費は安くなつたが、監理費が高くないよう注意すべきでないか。

答 町長 建設課長に目を光らせておくよう指導する。

多田和幸 議員





阪松明義 議員

国民文化祭に どう対応するか

問 ①どのように町民の理解を得ていくか。

答 ②本町にも1万人の来町が試算されているが、対応はどうするか。
③予算にどの程度計上できるか。

答 町長

① 上勝アートプロジェクト里山の彩生2006ということでプレイベントを実施しました。5人の作者の作品と場所を発表いただきました。5ヶ所に推進体制をつくって地域の住民とともに進めていきたい。特に地主さんと周辺地域の住民の協力がなければできないの

で内部体制をつくりたい。
② 5ヶ所の場所と作品の関連イベントの情報、トイレなど観光施設等、網羅したようなパンフレットを作成したい。道案内板も必要などところは設置をしなければならぬと思っております。
③ 19年事業について、補助事業として県に対して1,600万円を要望している。その他の補助事業にならない経費が数百万円程度でくる。現在試算中で必要経費を計上したい。



公共事業の 減少対策は

問 土木関連事業が県の事業抑制で仕事が少ないと建設業者は困っている。今後どうするか。

答 町長

町よりも県の方が財政がきびしいようで、林道等公共事業を30%、東部広域農道が40%削減ということで急に減らされては困るということで、知事にも直接会って申し入れをしてあるが、よい返事はいただいていない。県営事業で治山事業については、ほぼ横ばい或少々下がる程度。今後、一般競争入札になると町内業者はとれない。とても安い値段でとると採算があわないのできびしい競争も出てくるのでな

いか。最終的に本町についても大きな業者さんがありませのできびしい情勢になるので、このあたりも含めて検討していきたい。私も実は今一番心配しており、労働者が本町の一番多い職場であり、何とかこの事業量は確保したい。

テレビ・インターネット 不完全工事

問 インターネットの通信速度は100メガと言ったが、1ヶタしか出ない。原因は何か。

答 町長 VOIPは電話用で10メガが限度だ。高速希望の家庭は、NTT推奨のルータを入れると71メガくらい出るとのことだ。

問 TVインターネットの解像度は最悪性も悪い。インターネットとしての料金はとれないのではないか。

答 町長 それぞれの判断できめて貰いたい。

問 屋内3点セットは町の備品に間違い

答 町長 一部には人もある、ということだ。

問 障害者や低所得者に減免をしなければ、払いきれない人が出る。「福祉費で措置する」と答弁したがどう具体化するのか。

答 町長 一部には人もある、ということだ。

問 工期わずかに10日前に、突如設計変更して導入した「楽ビジョン」が欠陥商品だ。そのため1年間も運用開始が延びた。責任は。

答 町長 欠陥商品と考えると責任は両町だ。

問 「インターネットは生活になくはならない」と誇大宣伝した。本当に「生活になくはならないもの」と断言するの。

答 町長 一部には人もある、ということだ。

問 設計請負入札の際、談合通報があった。納期直前の機種変更など先に談合がなければできない事だ。公正取引委員会に報告する必要はないか。

答 町長 低い落札率であり、厳しい競争があった。談合通報があり、チェックしたが問題はなかった。報告する考えはない。

問 談合の海が悪しき常識となっている。町長は常々どう考えているのか。

答 町長 徴集されたのは、8月26世帯、9月218世帯だ。デジタル再送信以前の期間はNECに払わせることはできない。

問 料金徴収は3月まで延期されたが、9月以前の受信料が天引きされた人がある。それは何人か。返還させるべきだ。

答 町長 勝浦町と相談しながら対処したい。

問 勝浦町と相談しながら対処したい。

問 徴集されたのは、8月26世帯、9月218世帯だ。デジタル再送信以前の期間はNECに払わせることはできない。

答 町長 徴集されたのは、8月26世帯、9月218世帯だ。デジタル再送信以前の期間はNECに払わせることはできない。

問 徴集されたのは、8月26世帯、9月218世帯だ。デジタル再送信以前の期間はNECに払わせることはできない。

答 町長 徴集されたのは、8月26世帯、9月218世帯だ。デジタル再送信以前の期間はNECに払わせることはできない。

問 介護認定者に対しては、法令の定める「障害者控除対象者認定書」を発行できるが、当町ではどうなっているか。

答 町長 当面、介護と5の人に税控除ができるよう認定書を出す。

問 後期高齢者の国保負担増

答 町長 後期高齢者(70歳以上)の人は国保が広域連合に移され、保険料が年金から強制に天引きされる。町独自の支援がなされないと医者にかかれない人が出る。支援策はどうか。

問 後期高齢者(70歳以上)の人は国保が広域連合に移され、保険料が年金から強制に天引きされる。町独自の支援がなされないと医者にかかれない人が出る。支援策はどうか。

答 町長 危険個所ある。現在予算化しているのは檜原谷1件。18年度は3,000万円。19年から22年まで1箇所2億2.5億円、4箇所程度と考えているが、まだ予算化されていない。

問 危険個所ある。現在予算化しているのは檜原谷1件。18年度は3,000万円。19年から22年まで1箇所2億2.5億円、4箇所程度と考えているが、まだ予算化されていない。

答 町長 危険個所ある。現在予算化しているのは檜原谷1件。18年度は3,000万円。19年から22年まで1箇所2億2.5億円、4箇所程度と考えているが、まだ予算化されていない。



愛媛県里地里山再生モデル事業視察

愛媛県でも、高齢化、過疎化で農地の荒廃、耕作放棄が進み、解決に取り組む為、18年19年の2年間、県内3地区（愛南町・久万高原町・大洲市）で18年度予算998万で行っている。今回は大洲市を訪ねた。

事業主体は愛媛県で市町・関係機関と連携して牛は試験場より貸与。6月6日から行っが、痩せが認められる為8月29日に放牧を断念したとのこと。原因として①6月と時期が遅かった。②日陰がなかった等が考えられると説明があった。

同じ大洲市で放牧に取り組む菊池さんを紹介いただき訪ねる。3.5ヘクタールで和牛繁殖牛1頭、和牛子牛2頭、F1母牛3頭で計6頭を放牧している。受精卵移植技術の利用で優良和牛の生産を目指している。

耕作放棄地の雑草対策として、上勝版活用術としては、もう少し勉強する必要があると感じた。

（藤田）



期日：平成18年10月23日
場所：愛媛県大洲市

進む高齢化による耕作放棄地、遊休地等がめまぐるしく増加しており、いまのうちに、何らかの手を打っておかなくては、雑草にそのれた農地は大変なことになる。これは全国的な過疎地の共通の悩みでもある。そんな折里愛媛県西南部鬼北町においてユズ園においてヤギの放牧により下草刈り（舌草刈り）とヤギの糞による有機肥料の施用を兼ねている所をつきとめ、産業建設常任委員会のメンバー5人は現地へ。

（西浦）

加えてヤギの放牧による猿害なしの情報を得た。ここでは、ヤギの放牧を行い猿の出没が多い桃園でヤギの放牧をこころみたとこ猿害が激減し抜群の効果がでたそうです。

方法は桃園の周辺を電気柵でかこみヤギを放牧することによって、春から秋まで除草管理とともに、ヤギの糞による施肥効果を得るという発想で実施してこられた。雨水による糞の処理等問題はありそうですが、除草対策と共に勉強していく時がきていると思います。



期日：平成18年10月24日
場所：愛媛県鬼北町

産業建設常任委員会視察

写真で紹介 まちのようす



柚の定植（府殿）



全国茶生産団体連合会現地研修（神田）



そばの脱穀（傍示1Q）



葉ワサビ（福川）



治山工事（杉地）



落石防止工（戸越）



2月の声を聞き春の息吹が
 日一日と近づいている今日こ
 のごろ、平成19年を迎え、私
 達、広報委員会も最後の年にな
 りました。町民の方に親しく
 読んでもらえるようにと18
 年7月発行から誌面を変えま
 した。
 議会活動などわかりやすく
 と思い編集に取組みいろいろ
 思案しながらの委員会でした。
 今年1年がんばり、よりよい
 議会だよりを発行したい。
 （阪松）

編集後記

